

京都 CSR 推進協議会 2012 年度事業計画

(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

基本方針

当協議会は「中小企業の CSR 支援」「市民力の向上」「地域力の向上」をミッションとして、京都府域の中小企業及び小規模事業者を主とした企業等の CSR の取り組みを促進及び支援すること、並びに地域力の向上と地域の社会的課題の解決に資することを目的に、2011 年 4 月 22 日に設立した。

初年度の 2011 年度は、メンバー会員への支援事業の充実と会員の拡大を第一優先として事業に取り組むこととし、ウェブサイトの開設と運用、セミナーの開催、支援スキームの構築や NPO 等の地域の諸団体との連携・協働の点で、今後につながる一定の実績を残したが、一方、メンバー会員の拡大については目標を大きく下回る結果となった。

2012 年度は、支援事業の充実の前提ともなるメンバー会員の拡大に、引き続き第一優先の課題として取り組む。併せて、支援事業の充実にも積極的に取り組み、それを会員拡大につなげていく。

会員拡大にあたっては、すでに取り組んでいる企業とこれから取り組もうとする企業とを区分して取り組む。取り組みセミナーなどの事業運営面でも、双方でよい相乗効果が生まれるよう配慮する。

財務面では、2012 年度も引き続き自治体等の助成金を活用することとするが、将来の持続的な事業展開のために、受託事業など事業収入の確保を目指す。

1 支援事業

(1) ウェブサイト等の運用と機能充実

ウェブサイト「CSR 京都」の内容をさらに充実させる。その際、会員サービスをより充実させる視点と対外的な PR を効果的に行う視点の双方を踏まえてコンテンツの充実に努める。

また、メールニュースを継続して配信するなど、会員企業への情報提供サービスの向上に引き続き取り組む。

ウェブサイトに追加するコンテンツとしては、①取り組みレポートに出てくる頻度の高い CSR に関連する認証、表彰・顕彰等を簡潔に紹介するコンテンツ、②取り組みの進捗を時系列で見ることのできる仕組み、を検討して実施する。

(2) セミナー等の開催

入会オリエンテーション、CSR 創発塾（取り組みセミナー）、講演会を開催する。セミナー等の開催にあたっては、会員同士の交流の視点を重視する。また、講演会は会員限定ではなくオープンなものとし、会員拡大につなげる。

(3) CSR 取り組みレポートの作成・公開支援

取り組みセミナーや取り組みレポートサポートの仕組みを継続して機能させ、個別会員企業とのやり取りを通じて支援を行う。また、自社パンフレットの作成支援を行う。

(4) 自己診断ツールの開発

2011 年度に開発した、取り組みを次年度に継続していく段階での自己診断ツールを正式にリリースして活用する。加えて、取り組みを始める段階での自己診断ツールを開発する。また、それぞれ、ウェブサイト上で自己診断できる仕組みも含めて検討する。

(5) 取り組み機会の提供

メンバー会員の取り組み機会の拡大を図り、会員サービスを充実させる観点から、外部機関・団体と協力・連携しながら、ウェブサイトの「取り組みの気づきヒント（仮称）」コンテンツを充実させる。

また、昨年度、事務局を担当する CSR プラットフォーム京都がパイロット的に実施した「NPO

等と中小企業との連携・協働モデル形成事業」を共同して実施し、取り組み機会の拡大につなげるとともに、各社会セクター間の連携・協働を促進することで、地域力の向上と地域の社会的課題の解決に資するという協議会の目的にも資する。

(6) 大学との連携

大学の賛助会員の拡大を図るとともに、賛助会員の連携・協力のもと、中小企業・小規模事業者への学生の就職支援に CSR の視点を織り込みながら、大学と企業とをつなぐ枠組みの構築を検討する。

2 会員拡大事業

(1) 共同セミナー、入会説明会の開催

協議会構成組織の所属会員を対象としたセミナー等を、各構成組織の実情に合わせて共同して開催し、メンバー会員及び賛助会員の拡大につなげる。

(2) 個別企業訪問

過去の催しへの参加企業などを含め、必要に応じて個別に企業を訪問し、メンバー会員及び賛助会員の拡大につなげる。

3 広報事業

(1) リーフレット・パンフレットの作成と配布

具体的事例や写真なども含めた訴求力の高いパンフレットを新たに作成し、活用する。

(2) メディアを活用した広報の実施

催しの報道などを中心に、新聞報道等を効果的に活用する。

4 協議会の運営

(1) 総会の開催

年1回開催する。

(2) 理事会の開催

年1回程度開催する。

(3) 企画運営委員会の開催

年6回程度開催する。

以上